

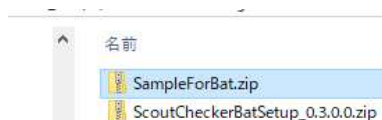
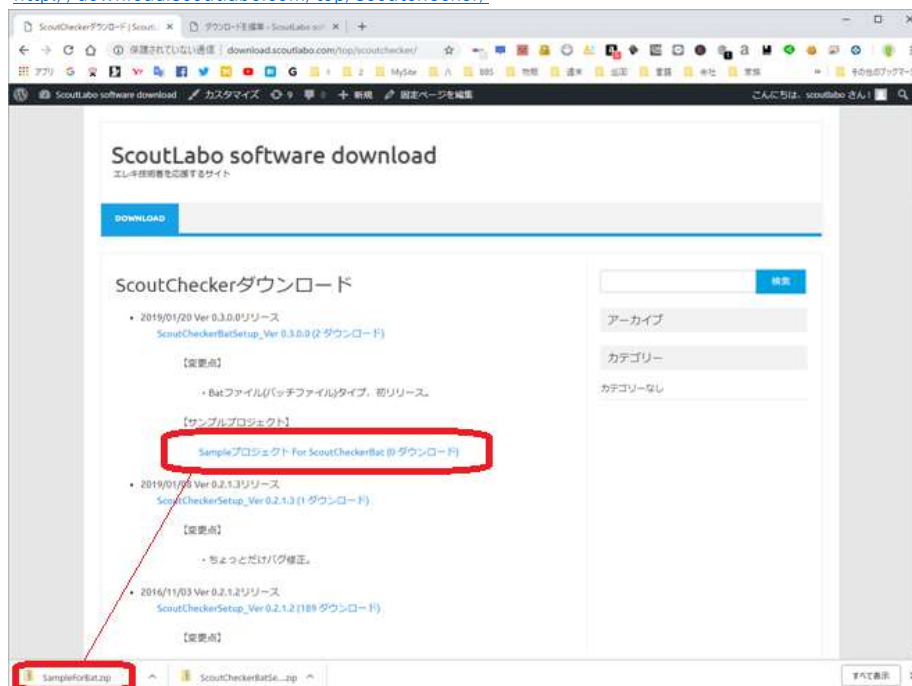
ScoutCheckerBatのサンプルプロジェクトの使い方

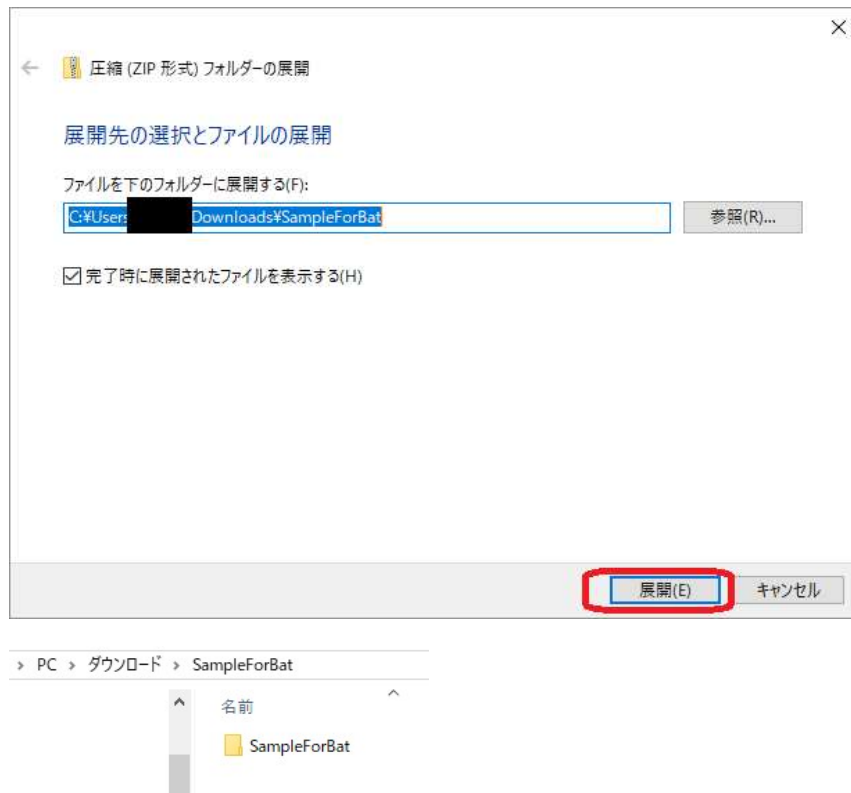
サンプルプロジェクトをダウンロードしてScoutCheckerBatを動かす手順を説明します。

サンプルプロジェクトはただのテキストファイルの集まりとディレクトリ構造です。

以下でダウンロード

<http://download.scoutlabo.com/top/scoutchecker/>





ディレクトリ構造

これは便宜上、こちらでイメージする構造を作っただけで
Batファイルを読んで頂ければアレンジの余地があることを
分かって頂けると幸いです。

SampleForBat

- | TestBat_all.bat
 - | ScoutCheckerBatを起動するBatファイルです。
 - | 中身はテキストファイルです。
 - |
 - | 作り方はテキストファイルを作り、
 - | 中にコマンドを書いて拡張子を.batにするだけで作れます。
 - |
- └── (backupディレクトリ)
 - | ScoutCheckerBatが中間ファイルを吐き出す場所です。
 - | 最初は気にしなくていいです。
 - |
- └── imagesディレクトリ
 - | HTML出力時に使用するアイコンを格納しています。
 - | ここから結果ディレクトリにコピーをするようにBatファイルで書いています。
 - |
- └── InputDataディレクトリ
 - | 回路情報他、プロジェクトに関する全ファイルが入れてあります。
 - |
- └── (libディレクトリ)
 - | ユーザーライブラリファイル格納庫。
 - |
- └── (結果ディレクトリ)
 - | 自動で生成される。

プログラムが実行されて
Resultディレクトリが生成されて結果HTMLファイルが生成されます。

回路の気になる箇所のHTMLファイルを開く。
接続図のアイコンをクリックすると各箇所のページに飛べます。
現状はTopページはありません。

